

安全大会

◆宮坂建設工業（宮坂寿文社長）



15日前、帯広市内の北
海道ホテルで「防災推進会
議」として開かれ、同社や
協力会社の社員ら約450
人が出席した。宮坂社長は
「われわれ自身、より積極
的に安全に関わっていく。
よりおせつかいに動き、話
していく」とあいさつした
写真。

宮坂建設工業が防災推進会議

安全管理の徹底呼びかけ

役職員や協力会社から450人出席



【帯広発】宮坂建設工業
(株)
(帯広、富坂寿文社長)
は十五日、
帯広市内の北海

道ホテルで防災推進会議を開催した。役職員や協力会社合わせて約四百五十人が出席し、労働災害防止に向けて、決意を新たにした。

続いて、安全管理を徹底しあげて、宮坂社長があげて、決意を新たにした。

続いて、安全表彰では、富坂社長が企業表彰・職長はじめ、宮坂社長がいさつ室真!。社長直轄の組織として、安全品質保証部を独立させたことなどを述べ、「もう一度、危険

の予知と排除に向け、積極的に安全管理に取り組んでいたい。工種・業者など関係なく普段からおせつ

かいを焼き、互いに声をかかいで、安全運営を徹底し、労働災害防止に向けて、決意を新たにした。

このほか、木幡彰夫常務

が「安全衛生計画・実施事項」について説明し、労働安全衛生目標「全ての労働災害について休業災害を0件とする」を発表。出席者は講話を通じ、安全に対する意識の高揚を図った。

【帯広】宮坂建設工業(本社・帯広)は15日、市内の道ホテルで協力を得て防災推進会議を開いた(写真)。本格的な

2016.04.19 北海道建設新聞

着工期間に備え 安全意識高揚

宮坂建設工業
防災推進会議

【帯広】宮坂建設工業(本社・帯広)は15日、市内の道ホテルで協力を得て防災推進会議を開いた(写真)。本格的な

着工期間に備え、安全意識

を高め合った。

宮坂寿文社長は「一日付

で社長直轄の安全・品質保証部を設けた」となど

を報告し、「積極的に安

全活動を進めていく」と



協力を求めた。協力会社への安全表彰に統いて講話をした帯広労基署の高倉法夫署長は、法令には違反していない事故が建設業で多いことを指摘。「いわゆるヒヤリハットの危険が生じた場合、その日のうちに現場内で情報を共有して翌日からの対策に結び付けてもらいたい」とアドバイスした。帯広警察署の赤岡義幸交通官は、「とかち広域消防局帯広消防署の井上真男指導課長もそ

れぞれの立場で講話をした。